

「共謀罪」法抗議の意見書

岩手県陸前高田市議会は20日、「共謀罪」法の強行成立に抗議する意見書を、日本共産党（3人）などの賛成多数で可決しました。抗議の意見書は県内では初めてです。

意見書は、同法が「憲法に保障された思想・良心の自由をはじめとする基本的人権を侵害する違憲立法」と指摘。その上で、参院法務委員会での採決を抜き

岩手・陸前高田市議会

にして、「国会ルールを無視したことは、議会制民主主義を真っ向から否定する暴挙だ」と糾弾しています。

「共謀罪」法への国民の疑問や異論に何ら答えず、加計・森友問題という政權そのものの疑惑解明に背を向けながら、「数の力」による強行を繰り返す党利党略のやり方には、一片の道理もない」と主張しています。